

第2回男鹿市総合教育会議議事録

1 日時 平成28年11月8日(火) 8:56～10:00

2 場所 男鹿市役所3階第一会議室

3 出席者 男鹿市 市長 渡部幸男
男鹿市教育委員会 教育長 鈴木雅彦
委員 目黒恵子
委員 角崎紘二
委員 清水富喜子
委員 山本貴紀

4 協議事項

- (1) コミュニティ・スクールの取組状況について
- (2) 読書活動推進における市立図書館と学校図書館との連携の在り方について

5 会議録

●事務局

ただ今から平成28年度第2回男鹿市総合教育会議を開会いたします。
初めに、渡部市長よりあいさつをお願いいたします。

●市長

おはようございます。本日は、大変ご多用のところ、総合教育会議にご出席いただきましてありがとうございます。

今、各地域において市政懇談会をおこなっておりますが、いろいろなご質問、問題点が提起された場合に、地域と学校が一緒になってやっていくことがいろいろな面での解決策になります。

ぜひ男鹿市としては、今年度から始まりましたコミュニティ・スクール制度について充実させ、その成果を住民の方一人ひとりがわかるような、そういう動きをしてまいりたいと思っております。本日の総合教育会議、よろしくをお願いいたします。

●事務局

ありがとうございました。それではこの後の進行につきましては、本会議を主宰します市長よりお願いいたします。

●市長

それでは進行を務めさせていただきます。よろしくご協力をお願いいたします。まず、次第にしたがって進めてまいります。3の協議事項であります。(1) コミュニティ・スクールの取組状況について事務局から説明をお願いします。

●事務局

～協議事項(1)説明～

●市長

ただ今の説明につきまして、意見交換をおこないます。皆様からご意見を伺います。

●角崎委員

コミュニティ・スクールの取組状況については、満足度として80パーセントくらいです。この成果については、何年後かにでてくるとは思いますが、期待しています。初年度の割には、よくやっていると思います。周知の仕方が大事で、学校運営協議会の内容等をもっと詳しく学校の校報等でお知らせするのが良いのではないかと思います。パネルディスカッションなども有効なので、市として取り組んだらどうでしょうか。

●教育長

コミュニティ・スクールは、学校運営に係る大きな取組で、これまでにない大きな変化です。地域の方が学校に入ることで、活性化につながっており、市民への広がりが鍵となると思います。コミュニティ・スクールを文字でお知らせすること。さらに情報交換会を行うことで、地域との連携も深まると思います。

●目黒委員

コミュニティ・スクールは、まだスタートしたばかりではありますが、がんばっていると思います。大館市、能代市、由利本荘市に行ってみました。地域の理解を得るために非常に難儀しておりました。それに比べると、男鹿市のスタートは順調であったと思います。

●教育長

由利本荘市で発表がありました。男鹿市は始めたばかりですが、レベルは決して低くなく、他市で驚いておりました。今後は、熟議を広めていきたいと思っております。

●清水委員

船越地区の住民の方で、船越小学校で何をやっているかよくわからない人がいます。これまでの活動内容、翌年度の目標等を校報等、紙でお知らせしてほしいものです。

●教育長

学校では、人事異動があります。新任者にすれば、コミュニティ・スクールの内容がよく知られていない場合もあることから、理解を深めてもらえるよう、説明の場を設けたいと考えております。今後も、地域への情報発信や周知に努めてまいります。

●清水委員

学習発表会で、地域の題材を積極的に取り上げております。学校で伝統文化を正しく伝承してほしいものですが、学校の先生だけだと、かなりの負担がかかってくると思われまます。こういう時こそコミュニティの力を借りて進めてほしいと思います。

●教育長

地域のおまつりを取り入れた学習発表会がありました。このことは、地域で生活する生徒にとってとても意味あることだと思います。市全体の課題、例えば「防災・ゴミの減量化」のように各家庭も子供もみんな関わっていることなどを、来年度、コミュニティ・スクールの課題として取り組んでいければと思います。

●清水委員

なまはげって、女の子がやっていいものですか。一時の発表の場でもかもしれませんが、できればきちっとご指導いただき、正しく継承して行ってほしいものです。

●角崎委員

先日、美里小学校の学習発表会を見に行ってきました。コミュニティ・スクールの取組を伝えたり、周知の仕方が大事だと思います。例えば、広報の組織を設置し、それにボランティアを組み込むなど、伝えていく方法が大事だと思います。

●教育長

各学校で部会組織はあります。船越小学校は、260人、潟西中は15人。ボランティアは少ないです。

●山本委員

校長先生の立ち位置が難しく、なじめない人もいる。型にはめれば悪いけど、組織図をしっかり作っていけば、人事異動でだれがきてもきちっとやっていけるはず。門戸を開いて、行きやすい学校にするのも大事なことです。船越小学校の組織図は良いと思います。小学校・中学校は、同じパターンでなく、違っていいのではないですか。分けて考えればよいと思います。広報は一年目だけど、二年目、三年目は完成度が高いと思われまます。

●目黒委員

地域の参加が必要。防災訓練等、実際に動いてもらい、地域の方からも参加してもらう。動きを交えておこなうことがよいと思います。

●市長

自主防災組織があるから、一緒におこなってみていくのもいいのではないですか。

●角崎委員

地域と共にある学校づくりを進める上で、コミュニティ・スクールはとても大事なツールだということ、その周知方法が大変大事なことだと思います。いろいろな組織との連携も大切なことです。

●教育長

10月26日、秋田県公民館大会がありました。その挨拶の中で、コミュニティ・スクールの取組を進める上で、公民館との連携がキーワードになるとありました。公民館からどう動いてもらえば、コミュニティ・スクールがよりよく機能するか、今後、考えていく必要があります。

●角崎委員

コミュニティの人材が重要と思います。

●教育長

ほかの先進事例をあげますと、春日市は平成17年、三鷹市は平成22年からの取組を踏まえ、レベルアップを図ってきました。熟議により大きな成果が期待できるので、このことは学校へも伝えていきます。

●市長

それでは、コミュニティ・スクールの取組状況については、この程度にとどめたいと思います。続きまして、協議事項(2)読書活動推進における市立図書館と学校図書館との連携の在り方について事務局から説明をお願いします。

●事務局

～協議事項(2)説明～

●市長

ただ今の説明につきまして、皆様からご意見を伺います。

●目黒委員

連携というのは、本をまわしているということですか。その意味は。

●教育長

本を通して、市立図書館と学校図書館の、できれば人の連携もあっていければよいと思っています。

●目黒委員

ビブリオバトルというのですが、好きな本を子供が紹介しあい、参加者が投票する。といったようなことをスポーツ的な大会として行ったらどうでしょうか。例えば、各学校から5人くらい選抜して、市立図書館等でアクティブに説明しあうといったような大会。たしか淵上の中学校で行っていると聞いています。そうすることで、読書に対する興味をもち、活気がでてくると思います。

●教育長

ビブリオバトルについては、図書館から要望がでております。

●目黒委員

小学5・6年生の発表を、下の学年に見せるのもよいのではないですか。

●角崎委員

市立図書館と学校図書館、とにかく読書好きの生徒を増やすことが大事だと思います。それに伴って、学力の向上も図れると思います。人がいる図書室は、読書をする人が多いです。読み聞かせをするボランティアを多くするのもいいかと。読書の在り方、読書が非常に大事だという認識を広めるPRも必要だと思います。そういったことで、学校全体を盛り上げていってほしいものです。

●清水委員

おもしろい本を他校に紹介するのはどうでしょうか。例えば、自分の名前をだして他校にPRするようなやり方。

●教育長

その学校だけでなく、他校にといいのはいいですね。いい取組はぜひ進めていきたいと思っています。

●市長

春日井まつりでは、図書、蔵書をもらっています。

その他で、皆さんございませんでしょうか。

予定時刻となりましたので、これもちまして男鹿市総合教育会議を終わらせていただきます。皆様ありがとうございました。